

国・特別天然記念物（地域を定めず）

オオサンショウウオ

指定年月日 昭和26年6月9日
昭和27年3月29日（特天）



オオサンショウウオは、日本固有の動物であり、現在生息する最大級の有尾両生類である。また、ヨーロッパ大陸では化石として発見されているものであり、遺存種としても極めて貴重な動物である。岐阜県以西の本州、四国、九州各地の河川上流部に分布し、その中心は中国地方で、岐阜県は分布の東限にあたる。

なお、岐阜県には、本種の代表的な生息地として、和良村全域、八幡町洲河の鬼谷川流域、大和町の小間見川流域が指定されている。

本種の成体の全長は最低40cm以上あり、大きなものは120cmを越える。山間の清流の岸の穴のようところに潜み、夜間行動する。餌になるものは、水中で出会う動物なら魚、サワガニ、カエル、昆虫類など何でも食べるようである。